

「行動計画2005推進委員会」行動指針 (2)

■ 大使制度新設委員会・個別大使活動支援委員会

副委員長 小嶋伸介 (水戸大使)

「ふるさとのために何ができるか」全国ふるさと大使連絡会議は、設立10年目の節目の年に全国の大使たちに呼びかけたところ、数多くの貴重な意見が寄せられました。今年は各委員会でそれらの意見を踏まえて実行し、答えを出していく年となりました。私は、大使一人ではふるさとのために何ができるかと言われてもなかなか難しい。大使間の連絡協力が不可避と考え市長に提案し、各大使に呼びかけて「水戸大使の会」を設立することができました。今年はその実績を出す年となりました。これをきっかけにして全国の大使の皆さんとふるさと大使の輪を広げていきたいと思えます。内輪で考えるより外

に目を向けて積極的に情報交換し、ふるさと活性の、ふるさとのための、ふるさとの生きた情報を発信する機会をつくり、より多くの情報を発信し続けたいと考えます。

「ふるさと大使かわら版」はもとより、ふるさと大使制度に理解ある全国地域経済情報誌「コロンブス」とより積極的な情報交換を図り、また今年設立発足した新しいメディアとして期待を寄せられているNPO法人「ふるさとテレビ (インターネットテレビ)」とも相互協力の具体的方策を検討する必要があります。活字と映像、情報発信に必要な環境が整ったともいえます。ふるさと大使活動支援委員会として、ふるさと情報を発信するプロジェクトを早急に作って情報ネットワークをつくり、大使の皆様のお役に立ちたいと思えます。